



体で感じて学ぶ!

「プロジェクト・ワイルド」 参加者募集

について

謹啓 向暑の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、参加体験型環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」の一般指導者(エデュケーター)養成講習会の受講者募集を開始しましたので、お知らせいたします。

「プロジェクト・ワイルド」は数ある環境教育プログラムの中でも、国内最大級の指導者数を誇り、11,000人の一般指導者を有しています(2006年8月現在)。また、2004年に施行された「環境教育推進法」では人材認定等事業に登録され、環境教育の指導者を探している方や、指導者になりたい方にとって、重要かつ効果的なプログラムの1つとなっています。

なお、プロジェクト・ワイルドの概要については、当財団のプロジェクトワイルド専門HP (<http://www.projectwild.jp/>)をご高覧下さい。

つきましては、皆さまには御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。 謹白

「第1印象」

本編:第5章 文化と野生生物

動物の写真をみたときに感じたことを話しあいます。

人気のあるもの嫌われるものを選びます。

特に「怖い」と思うものの環境への貢献度を伝え、

「第1印象」について話し合います。



- 動物に対する神話や固定観念にもとづく反応と、正確な情報にもとづく反応を区別できるようになります。
- 人間が恐れを抱く動物も含め、生態系に対する動物の貢献度を認識できるようになります。

「つながり発見! 生息地」

本編:第1章 気づきと理解

みんなで、生息地の構成要素に

なり、つながって輪をつくり、生

息地を表現します。



- 生息地の構成要素にはなにがあるのか、人間や他の動物が、どのように生息地に依存しているかがわかるようになります。
- 人間や野生生物にとって、生息地が消失したり変化することが、いかに大事であるかをわかるようになります。

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下

電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

お客様問い合わせ番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

「プロジェクト・ワイルド」一般指導者(エデュケーター)養成講座について

1. 目的

近年、地球規模での環境問題への関心が高まる中、学校、地域社会、行政等の立場で環境教育(又は学習)の新たな取り組みが課題とされています。都市公園では平成8年度より、市民の環境活動や指導者の育成拠点として「環境ふれあい公園」の整備が進められています。このような公園緑地でのニーズを受けて、プロジェクト・ワイルドの内容およびその活動を、広く普及、啓発することを目的として実施します。

2. 特徴

- **What to think** (何を考えるか)ではなく、**How to think**(どのように考えるか)を指導します。
- 子どもたちが夢中になる楽しさがあります。
- アクティビティは実際の授業や、現場に応じて容易にアレンジができます。
- 生態系の仕組みと人間の関係、生物を模擬体験することができます。

3. 実施日時

平成19年8月25日(土) 10:00~17:30 (9:30受付開始)

4. 主催

国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所
財団法人公園緑地管理財団 ひたち公園管理センター

5. 対象

環境教育に関心を持つ方、公園緑地・ネイチャーセンター等における指導者等

6. 定員

30名(定員になり次第締め切り)

7. 参加費

8,100円(当日受付にて徴収)(テキスト、資料代、入園料、保険料等含む)

8. 場所

ひたち公園管理センター

9. 講師

郡司晴元氏。プロジェクト・ワイルド上級指導者(ファンリテーター)。茨城大学教育学部准教授、1968年茨城県生まれ。大学・大学院では自然人類学・霊長類学を専攻。学生時代から、野外教育、環境教育のボランティア活動にも関わる。非常勤講師、(財)日本モンキーセンター・リサーチフェローなどを経て、2004年4月から茨城大学勤務。大学では環境教育演習などの授業を担当。

10. 申し込み方法

申込用紙に必要事項を記入の上、FAX または郵送による申し込み。締め切りは8月15日(水)。